

市町村名： _____ 東郷町 _____

1. 輸送サービスの範囲

(1) 利用対象地域

日進市、東郷町及びみよし市

(2) 利用数（現在：令和8年度（見込））

34,967人

(3) 路線の特性及び利用者の特徴

鉄道駅への接続及び大規模商業施設への移動需要に基づく路線。名古屋市への移動手段として、通勤通学及び高齢者の利用を見込む。

(4) 路線の必要性

鉄道駅への接続及び大規模商業施設への移動需要に基づく路線。名古屋市への移動手段確保及び地域住民の日常生活における移動手段を確保するために必要である。

2. 輸送サービスの形態

民間事業者による乗合バス（路線定期運行）

3. 輸送サービスの水準

区分	系統名	運行系統			系統 キロ程	関係市町村キロ程		1日当たり 計画運行回 数	運行時間帯	備考	
		起点	主な経由地	終点		往	復				
計画 (R8.10)	星ヶ丘・豊田	赤池駅	御岳	イオン三好店 アイモール前	往	10.0	日進市	往 2.7	6.5	7:00 ~ 20:45	
					復		日進市	復 2.7			
					往		東郷町	往 5.9			
					復		東郷町	復 5.9			
					復	10.0	みよし市	往 1.4			
							みよし市	復 1.4			

4. 輸送サービスの提供主体及びその理由

名鉄バス株式会社

- ・当該エリアを運行する既存のバス会社であり、沿線状況を熟知しているため。
- ・駅周辺に停留所を有しており、安全で円滑な運行が可能であるため。

5. 輸送サービスの提供主体及びその理由

区分	系統名	1日当 たり計 画運行 回数 (回) A	計画 平均乗 車密度 (人) B	計画輸送量(人) 1日当たり計画運行回数 ×計画平均乗車密度 《A×B》	キロ当 たり経 常費用 (円) C	当系統 キロ 当たり 経常 収益 (円) D	計画 実車 走行 キロ (km) E	経常 費用 (千円) F 《C×E》	経常 収益 (千円) G 《D×E》	欠損 見込 額 (千円) H 《F-G》	負担者別内訳			
											国 (千円)	県 (千円)	市町村 (千円)	事業者 (千円)
計画 (R8.10)	星ヶ丘・豊田 (現行からの変更点)	6.5	3.5	22.7 6.5 × 3.5	438.11	175.50	47,450.0	20,788	8,327	12,461	2,878.0	2,878.0	6,705.0	0.0

6. 輸送サービスの利用促進計画

(1) 利用者数の目標

区分	8年度(見込)	9年度	10年度	11年度
年間利用者数(人)	34,967	36,023	37,084	38,145
※上記目標設定の考え方	取支改善率1%に必要な年間利用者数			

(2) 利用促進策

区分	利用促進策の内容
9年度 10年度 11年度	<ul style="list-style-type: none"> ・GTFS化を継続し、google及び交通系経路検索サイトからの路線の案内をする ・路線マップ・時刻表の配布、広報紙やホームページ等を活用したPR ・イベントに出展してバスへのふれあいを通じて利用促進に繋げる ・利用実態に応じたダイヤの見直し ・バスの系統をナンバリングし、路線図にも系統表示をして、利用者が分かりやすいようにする ・自治体と事業者が連携して高齢者向けフリーバスをPRする ・め〜バス日和(高齢者フリーバス購入者向け情報誌)の発行により、バスの利用でのお出かけを促進する ・発売窓口に行く必要がなく、1日乗車券等を車内でmanacaに付与できる次世代運賃箱が導入され、旅客サービス及び販路拡大に繋がる取り組みを行う

(3) 事業の効果

区分	事業効果の内容
9年度 10年度 11年度	通勤、通学、買い物等の地域住民の日常生活における移動手段を確保することができる。

(4) 令和7年度事業評価結果を踏まえた取組等

公共交通の利用を促進するため、バスマップを町HPに掲載し、転入者に対してバスマップ配布する。また、出前講座（バスの乗り方教室等）を実施する。

7. 収支改善計画（生産性向上の取組）

(1) 9年度の生産性向上の取組

	運営主体	沿線市町村①		沿線市町村②		沿線市町村③	
		市町村名	東郷町	市町村名	日進市	市町村名	みよし市
取組 〔経費削減策等〕	高齢者向けフリーパス（ゴールドバス・シルバーバス）のPRを継続実施し、昼間帯および土曜・休日の利用促進を図る。 市が開催するイベント等に参加し、車両展示や乗り方教室を行うことによりバス利用をPRする。	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、啓発チラシ、バスマップ等で周知を図る。 ・出前講座（バスの乗り方教室等）を運営主体と協力して実施する。 ・近隣市町と協力して広報誌等による利用の周知及び啓発を行う。 ・町内全地区に対し、チラシ回覧、地区懇談会での紹介を実施し、周知を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・HPや啓発チラシ、バスマップ等の媒体で周知を図る。 ・本市南部の住民に対し、赤池駅までのアクセス手段として活用可能であることの周知を図る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・HP、啓発チラシ、バスマップ等で周知を図る。 ・市主催のイベントで協力して車両展示等を行うことでバスの利用促進を図る。 	
スケジュール等	随時	随時		随時		随時	

(2) 定量的な効果目標

指標	収支改善率 1%
----	----------

【参考】経常収支率

5年度	6年度	7年度	8年度	9年度
40.96%	36.96%	45.00%		